

研究課題名	切除不能進行肝細胞癌に対する化学療法の治療効果（多施設共同研究）
所属（診療科等）	長崎みなとメディカルセンター 消化器内科
研究責任者（職名）	市川 辰樹（主任診療部長）
研究期間	2020年8月17日 ～ 2026年12月31日
研究目的と意義	肝細胞癌の患者さんに対する化学療法の効果について検討します。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>2009年1月1日～2024年12月31日の間に長崎大学病院を中心に、当院を含む共同研究施設（佐世保市総合医療センター、佐世保中央病院、長崎医療センター、諫早総合病院、長崎原爆病院、島原病院、柴田長庚堂病院、大分県立病院）において肝細胞癌に対し化学療法を導入された患者さん</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>患者基本情報：性別、年齢、身長、体重、血圧、圧力、体脂肪量、病歴、内服歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体所見：肝性脳症有無、皮膚症状有無、浮腫有無 ・治療内容：肝細胞癌の場合は切除術式、RFA時の治療対象病変詳細・使用針、TACE/TAI時使用した薬剤、放射線照射線量・回数、全身化学療法薬剤 ・血液学的検査：白血球数、赤血球数、血小板数 ・血液生化学検査：総タンパク、アルブミン、AST、ALT、T.bil、D.bil、ALP、γGTP、空腹時血糖、HbA1c、NH3、BUN、Cre、eGFR、Na、ChE、レチノール結合タンパク質、トランスサイレチン、ヒアルロン酸、IV型コラーゲン、IV型コラーゲン/7S、M2BPGi、血清サイトカイン、AFP、PIVKA-II、AFP-L3、TSH、FT4、FT3 ・凝固系検査：PT、PT-INR ・尿検査：尿タンパク ・肝性脳症検査：NCT (Number connection test) ・画像検査：肝細胞癌サイズ、個数、脈管侵襲、リンパ節転移、遠隔転移、L3レベル筋肉量・内臓脂肪量・皮下脂肪量、非侵襲的肝線維化画像検索（VITQ/Fibroscan）、上部消化管内視鏡画像（食道胃静脈瘤評価）、骨塩定量検査 ・病理検査：肝切除時病理診断、腫瘍生検時病理診断、胸腹水病理細胞診 ・有害事象：手足症候群、高血圧症、倦怠感、食欲低下、下痢、浮腫 ・肝疾患関連イベント：入院を要する難治性腹水貯留、肝性脳症、食道静脈瘤破裂、肝細胞癌破裂 ・再発・予後：RECIST基準を用いた治療効果判定、生存・死亡の有無
	<p>●研究方法</p> <p>上記の情報をカルテより収集し、下記について検討します。</p> <p>癌の進行を抑えた生存期間（Progression free survival）とその要因、全生存期間、肝予備能（肝臓の機能的評価）、薬剤に関連する副作用の有無、肝癌以外の肝臓関連合併症の有無など。</p>
問い合わせ先	<p>所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター</p> <p>住所：長崎市新地町6番39号</p> <p>電話：095（822）3251</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00（土日祝日を除く）</p>